

第16期 報告書

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

TOABO

株式会社トーア紡コーポレーション

Top Message

ごあいさつ

100周年に向かうトア紡グループ。

「アメニティ＝快適」という価値を未来に、暮らしに届けるため
商品・研究開発を5つの事業分野で展開し、
TOABOブランドのさらなる飛躍を目指します。

第16期の業績について

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第16期（平成29年1月1日から平成29年12月31日まで）の事業概要を次のとおりご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に個人消費においても持ち直しの動きが見られるなか、中国経済の減速懸念や北朝鮮を巡る地政学的リスクの高まりなど海外情勢の不透明感はあるものの、緩やかな回復基調で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は19,399百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は472百万円（前年同期比17.8%減）、経常利益は416百万円（前年同期比14.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は268百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株につき20円とさせていただきます。

今後の方針

当社グループでは、5つの事業を中心として、グループ全体のさらなる事業価値の向上を最大の経営課題と位置付け、中期的な経営戦略に基づいて、各事業分野において、以下の取り組みを進めてまいります。

衣料事業

学生数や労働人口が減少する中、衣料品に携わるメーカーとして、学生服では快適な衣服内環境の開発で新たな需要を掘り起こし、日本国内の生産基盤を維持します。また、テキスタイル分野では中国・ベトナムでの生産・販売を強化することで、競争力のある事業を構築していくとともに、環境に負荷をかけない安心安全な加工技術の開発を通じ、事業の継続的発展を進めます。

インテリア産業資材事業

自動車内装材部門では、国内は徹底した生産の効率化と経費の削減で、収益の改善を目指します。中国では、今後の新規受注を見込み、設備を増設し生産力の強化を図ります。また、カーペット部門・不織布部門・ファイバー部門では、工場生産の安定化を図るとともに新規商材の開発、新規分野の開拓に努めます。製造部門では、競争力のある商品づくりを目指し、生産性の向上と新規分野開拓のための設備投資を進めます。

エレクトロニクス事業

既存製品については、中国生産工場での品質と工程管理強化を図り、東南アジアへの輸出拠点の体制を確立いたします。また、成長産業であるロボット分野への基幹部品の販売に着手いたします。

ファインケミカル事業

今後の成長が見込まれるIT・情報電子材料分野での事業拡大を図るとともに、昨年より製造を開始したヘルスケア分野の化粧品用途材料、並びに将来可能性を持つ新規材料の規模拡大の機会をとらえ、投資も含め事業拡大に努めます。

不動産事業

商業施設は投資により資産価値を高め、事務所賃貸については稼働率の向上に努めます。

これらの取り組みとともに、「企業の果たす社会的責任」の一環として、「人」・「暮らし」・「環境」の心地よい調和を求めてまいります。

また、法令遵守や危機管理を一層徹底するため、「トア紡グループ企業行動憲章」のさらなる定着と実践を推進し、より実効性のある内部統制の整備、運用に取り組んでまいります。

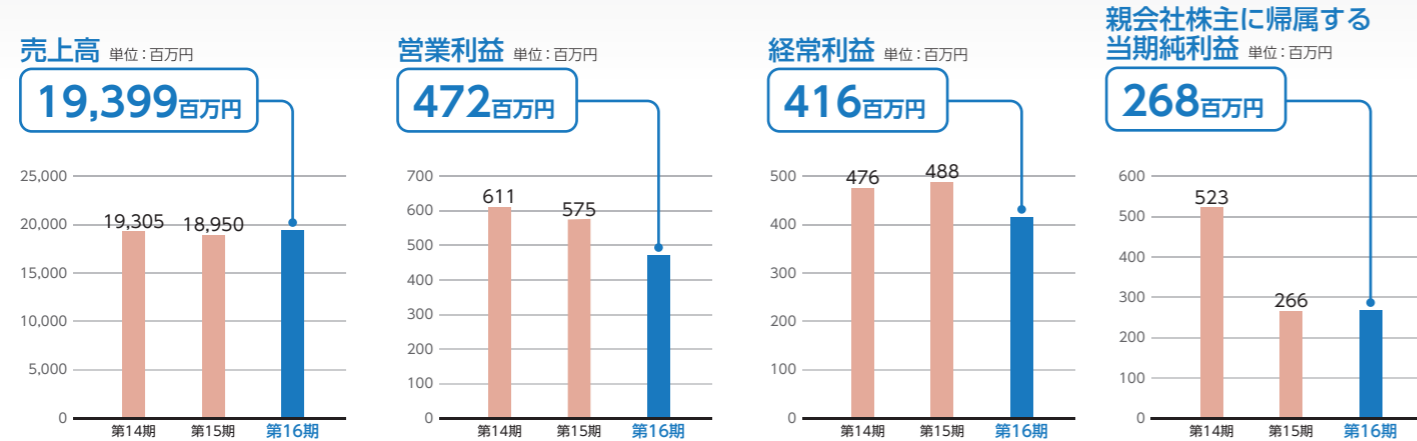
株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月29日

代表取締役社長 長井 渡

Segment 営業の概況

財務ハイライト (連結)



エレクトロニクス事業

売上高 単位:百万円

2,059百万円

売上高構成比 **10.6%**

期	売上高 (百万円)
15期 (2016/12)	2,145
16期 (2017/12)	2,059

エレクトロニクス事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っており、電動工具向けのコントローラーの受注は堅調に推移しましたが、一方で家電関係の成型品の販売は不調であったこと、また工場設備の補修工事と検査機器の更新等の経費増もあり、売上高2,059百万円(前年同期比4.0%減)、営業利益49百万円(前年同期比28.3%減)となりました。

ファインケミカル事業

売上高 単位:百万円

989百万円

売上高構成比 **5.1%**

期	売上高 (百万円)
15期 (2016/12)	820
16期 (2017/12)	989

ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、工業用薬品の製造および販売を行っており、機能性電子材料向けや医薬中間体の販売が堅調に推移し、売上高989百万円(前年同期比20.6%増)、営業利益121百万円(前年同期比36.9%増)となりました。

衣料事業

売上高 単位:百万円

8,088百万円

売上高構成比 **41.6%**

期	売上高 (百万円)
15期 (2016/12)	7,979
16期 (2017/12)	8,088

衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造および販売を行っております。毛糸部門では、国内は原毛高・円安の影響を受けた純毛梳毛糸需要の減少で、大幅減収となりましたが、中国子会社の人民元販売糸の増販で国内外合わせると増収となりました。ユニフォーム部門では、学校向け制服素材はほぼ昨年並みに推移し、ニット製品も昨年に引き続き堅調で増収となりました。他方、企業向け、官公庁向けはともに昨年は大口の案件がありましたが、今年は低調で大幅な減収となりました。テキスタイル部門では、ベトナムでの増産が軌道に乗り、郊外量販店向けメンズ素材およびレディース素材が昨年を上回り増収となりました。この結果、衣料事業は、売上高8,088百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益105百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

不動産事業

売上高 単位:百万円

922百万円

売上高構成比 **4.8%**

期	売上高 (百万円)
15期 (2016/12)	928
16期 (2017/12)	922

不動産事業は、郊外型ショッピングセンター・オフィスビル等の賃貸を行っており、稼働率の向上に努め、且つ保有資産の効率化を行った結果、売上高922百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益548百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

その他

売上高 単位:百万円

482百万円

売上高構成比 **2.5%**

期	売上高 (百万円)
15期 (2016/12)	492
16期 (2017/12)	482

その他の事業は、自動車学校の運営、新規事業および中国における貿易業務などを行っております。自動車教習事業は、前年並みの入校生を確保することができ、順調に推移しました。新規事業は、化粧品原料や食品原料を取り扱っており、中国向けの健康食品の納品が一部延期となり、減収となりました。中国子会社の販売は前年並みに推移したものの、その他の事業全体の売上高は482百万円(前年同期比2.1%減)、営業損失13百万円(前年同期は営業損失16百万円)となりました。

インテリア産業資材事業

売上高 単位:百万円

6,858百万円

売上高構成比 **35.4%**

期	売上高 (百万円)
15期 (2016/12)	6,583
16期 (2017/12)	6,858

インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア製品の製造および販売を行っております。ポリプロファイバー部門は、住宅建材用、展示会カーペット用、車両向け原綿が堅調に推移し増収となりました。カーペット部門は、住宅関連用途、カーマット関連、ホテル物件等堅調に推移しました。また、OEMの新規取引など新たな取り組みもあり増収となりました。不織布部門は、寝装用途、緑化資材・防草資材は堅調に推移しましたが、土木資材が低調で減収となりました。特殊繊維部門は、カーボン繊維製品が好調で増収となりました。自動車内装材部門は、SUV型の量販車種や輸出向け車種は安定的に推移しましたが、モデル末期車種や量販車種打ち切りの影響で生産量が減少したことによるコストアップ、設備投資による減価却費の増加、エネルギー費や運送費等の経費増もあり大幅な減収となりました。自動車内装材製造販売の中国子会社は、主力の小型車、SUV型車種の販売が好調で増収となりました。この結果、インテリア産業資材事業は、売上高6,858百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益87百万円(前年同期比46.5%減)となりました。

会社概要 (平成29年12月31日現在)

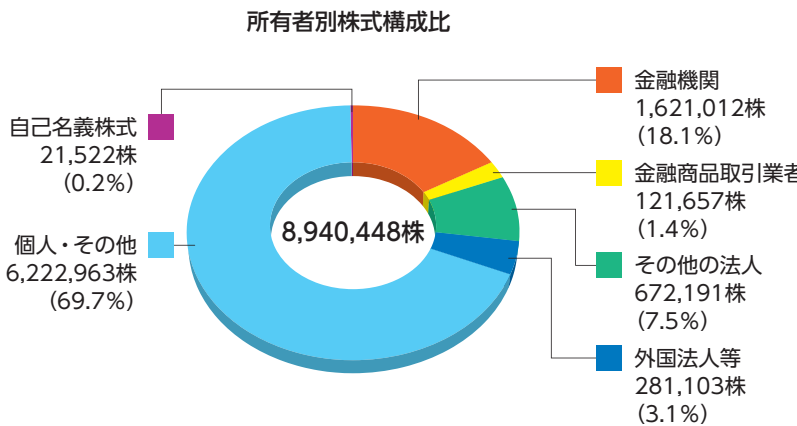
会社名	株式会社トーア紡コーポレーション
設立年月日	平成15年6月12日 (創業 大正11年2月)
資本金	3,940,097,500円
主要な事業内容	アプライアンス向け部品、ファインケミカルの製造販売および不動産賃貸、各種繊維製品の製造加工販売を行う子会社の経営管理
事業所	本社 大阪市中央区城見一丁目2番27号 クリスタルタワー 18階 東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町14番7号 アクサ小伝馬町ビル 4階 大阪工場 大阪府泉大津市虫取町一丁目1番12号
従業員数	64名
ホームページ	URL http://www.toabo.co.jp/

役員 (平成29年12月31日現在)

代表取締役社長	長井	渡
取締役	西井	申明
取締役	山田	哲
社外取締役	坂下	清信
社外取締役	丸岡	健二
常勤監査役	川崎	隆行
社外監査役	高島	志郎
社外監査役	伊藤	豊久

株式の状況 (平成29年12月31日現在)

発行可能株式総数	14,300,000株
発行済株式総数	8,940,448株
株主数	6,503名



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月に開催

基準日 毎年12月31日

株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

手続におけるご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

単元株式数 100株

公告方法 電子公告の方法

公告掲載URL <http://www.toabo.co.jp/>
電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞に掲載いたします。



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。